

事例番号:340392

## 原因分析報告書要約版

産科医療補償制度  
原因分析委員会第五部会

### 1. 事例の概要

#### 1) 妊産婦等に関する情報

経産婦

#### 2) 今回の妊娠経過

妊娠 37 週 1 日 胎児心拍数陣痛図で一過性頻脈、基線細変動あり

#### 3) 分娩のための入院時の状況

妊娠 38 週 4 日

10:00 頃 紹介元分娩機関受診

胎児心拍数陣痛図で胎児心拍数基線頻脈、基線細変動減少、一過性頻脈消失、サイソイタルパターンの特徴を有する波形を認める

16:58 胎児機能不全疑いで当該分娩機関へ紹介され入院

超音波断層法で臍帯動脈管径差あり、血流をほぼ認めないが一部血流あり

#### 4) 分娩経過

妊娠 38 週 4 日

19:58 臍帯動脈閉鎖、胎児機能不全のため帝王切開で児娩出

胎児付属物所見 胎盤病理組織学検査で 1 本の臍帯動脈は広範にわたって所々で狭窄や拡張あり

#### 5) 新生児期の経過

(1) 在胎週数:38 週 4 日

(2) 出生時体重:2700g 台

(3) 臍帯動脈血ガス分析:pH 7.29、BE -6mmol/L

(4) アプガースコア:生後 1 分 1 点、生後 5 分 3 点

- (5) 新生児蘇生：人工呼吸（ハック・マスク、チューブ・ハック）
- (6) 診断等：  
出生当日 重症新生児仮死、胎便吸引症候群
- (7) 頭部画像所見：  
生後 7 日 頭部 MRI で大脳基底核・視床の信号異常を認め、低酸素・虚血を呈した所見

## 6) 診療体制等に関する情報

### <紹介元分娩機関>

- (1) 施設区分：診療所
- (2) 関わった医療スタッフの数  
医師：産科医 1 名  
看護スタッフ：助産師 3 名

### <当該分娩機関>

- (1) 施設区分：病院
- (2) 関わった医療スタッフの数  
医師：産科医 2 名、小児科医 2 名、麻酔科医 1 名  
看護スタッフ：助産師 1 名

## 2. 脳性麻痺発症の原因

- (1) 脳性麻痺発症の原因は、入院前の妊娠 37 週 1 日以降、紹介元分娩機関受診となる妊娠 38 週 4 日までの間に生じた一時的な胎児の脳の低酸素や虚血による中枢神経障害であると考えられる。
- (2) 一時的な胎児の脳の低酸素や虚血の原因を解明することは困難であるが、臍帯血流障害の可能性はある。

## 3. 臨床経過に関する医学的評価（2020 年 4 月改定の表現を使用）

### 1) 妊娠経過

妊娠中の管理は一般的である。

### 2) 分娩経過

- (1) 紹介元分娩機関における入院時の対応（超音波断層法実施、分娩監視装置

装着)は一般的である。

- (2) 胎児機能不全疑いで当該分娩機関へ相談し紹介としたことは一般的である。
- (3) 妊娠 38 週 4 日、当該分娩機関受診時の対応(超音波断層法実施、入院管理とし分娩監視装置装着)は一般的である。
- (4) 胎児心拍数陣痛図で軽度遅発一過性徐脈の直後に高度遷延一過性徐脈を認めると判断し、胎児機能不全のため帝王切開決定を決定したことは一般的である。
- (5) 帝王切開決定から約 80 分後に児を娩出したことは選択肢のひとつである。
- (6) 臍帯動脈血ガス分析を実施したことは一般的である。
- (7) 胎盤病理組織学検査を実施したことは適確である。

### 3) 新生児経過

新生児蘇生(バッグ・マスクによる人工呼吸、気管挿管)は一般的である。

## 4. 今後の産科医療の質の向上のために検討すべき事項

### 1) 紹介元分娩機関および当該分娩機関における診療行為について検討すべき事項

#### (1) 紹介元分娩機関

胎児機能不全と診断し、高次医療機関に紹介する場合、移動中の胎児の健全性の悪化の可能性や緊急性について妊産婦にわかりやすく説明し、救急搬送を含めた迅速な転院の手段を指示することが望まれる。

【解説】本事例では、胎児機能不全と診断後、当該分娩機関と相談し同日に自家用車で受診するように指示しているが、妊産婦は一旦帰宅後、当該分娩機関紹介から約 3 時間後に当該分娩機関を受診した。胎児機能不全の場合、移動中にも胎児の健全性が悪化する可能性があることや受診後に緊急帝王切開となる可能性があることについて妊産婦に説明し、救急搬送による転院、あるいは自家用車で転院とした場合には家に帰らずに直接受診するなど、妊産婦が迅速に高次医療機関を受診する手段を具体

的に指示することが大切である。

**(2) 当該分娩機関**

なし。

**2) 紹介元分娩機関および当該分娩機関における設備や診療体制について検討すべき事項**

**(1) 紹介元分娩機関**

なし。

**(2) 当該分娩機関**

緊急帝王切開を決定してから手術開始までの時間を短縮できる診療体制の構築が望まれる。

**3) わが国における産科医療について検討すべき事項**

**(1) 学会・職能団体に対して**

陣痛開始前に発症した異常が中枢神経障害を引き起こしたと推測される事例を集積し、原因や発症機序についての研究を推進することが望まれる。

**(2) 国・地方自治体に対して**

陣痛開始前に発症した異常が中枢神経障害を引き起こしたと推測される事例の発症機序解明に関する研究の推進および研究体制の確立に向けて、学会・職能団体への支援が望まれる。